

高知県労連

No. 134
 発行：高知県労連書記局
 住所：高知市丸ノ内2-1-10
 〒780-0850 高知城ホール3階
 [TEL]088-872-3406
 [FAX]088-822-7969
 ホームページもご覧ください。

良質な雇用と 充実した社会保障で 「福祉国家」を目指そう！



定期大会での団結ガンパロー

第24回 定期大会

震災で明らかになった 脆弱な社会保障制度

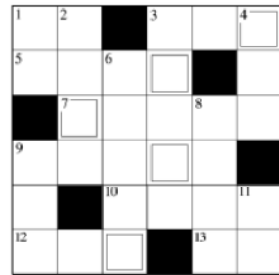
県労連は十月十六日、高知市青年センターで第二十四回定期大会を開催し、震災で明らかになった社会の構造を正し、良質な雇用と充実した社会保障の「福祉国家」を目指す取り組みを確認しました。

大会は、傍聴を含め、九十名余りが参加しました。来賓には日本共産党、四国労金、全労連からおいで頂き、激励や連帯の言葉をいただきました。西山委員長は、「三月十一日の震災を機に、地震対策や原発問題はもろろんのこと、すべての面で安心して暮らし続けられる国・地域への大転換を図る時が来た。ところが実際は大震災を口実に、あるいは大震災の陰に隠れて悪政が進められようとしている。」と述べ、震災復興を理由とした「社会保障と税の一体改革」の推進や、TPP参加に対して断固として反対し、幅広い

運動を訴えました。議案提案は、田口書記長が行い、良質な雇用（ディーセントワーク）と充実した社会保障の実現「なくせ貧困運動」、地域での教育、医療、福祉など諸制度の後退を許さない「住み続けられる地域運動」、平和憲法の遵守を求める「戦争をしない、させない」運動を提起しました。また、運動の軸足を「職場」と「地域」に置き、目に見える職場活動と地域運動の発展を目指す取り組みを訴えました。討論には二十一名が参加し、職場、地域での取り組みが、大会方針を豊かにする形で発言されました。また、多くの代議員が、組織の拡大や強化について言及したことや青年、女性の比率が高かったことなども特徴的な大会となりました。最後に、決算・予算を承認しました。また、役員選挙では、西山執行委員長、田口書記長を再任、新たに副執行委員長に武田孝子氏、書記次長に中岡健太氏を選出しまし

針路

十一月二十七日が、高知県知事選挙の投票日。県庁で記者発表し、革新県民連合の態度表明をした。統一候補は立てない、共産党高知委員も出席し、同党候補者は立てない」と表明。知事は憲法九条を積極的に評価、TPPについて「容認できない」と表明、道州制や「社会保障と税の一体改革」について地域や低所得者の視点の重要性を訴えている▲産業振興計画の評価は多分に秀麗的な面があり、真価はこれから。また、教育面では学テの全校実施、高校の再編、新たな学警連絡制度の導入など問題点あり。県市図書館問題では結論ありきのトングダウンの行政手法。しかし、結論としては、どうしても尾崎県政ではダメだ、とはならなかった▲多くの質問が出された。共産以外に推薦を出しているがどう？ 連合も推薦を決めた。私は支持政党、支持団体の利益を県民利益の上に置くようなら問題。現知事は自身の合理的な判断基準を持ち、旧来の自民党政、民主の構造改革路線のストレートな追従姿勢は無く、中山間地域を守る視点も持ち合わせていると答えた。また、連合との平等取り扱いを求めることも▲将来の知事選挙についてはフリーハンド、良質な雇用と社会保障による持続可能な地域社会。知事選挙は運動の延長にある。チャックと提案を強化する(田)



クロスワードパズル

カギを解き、二重ワークに入る文字を並べ替えてできる言葉は何？

【ヨコのカギ】①類童——は法により罰せられます ⑩堂々たる——の持ち主 ⑫——ジェットブリ——を誇る ⑦城 ⑬初日の公の周囲の塀 ⑨児 演は大〇〇満員

【タテのカギ】①美りの〇〇読り ⑧開会の対 ⑨配偶者の弟 ⑩桃〇〇三年柿八年

クロスワードパズル
 図書券プレゼント
 チャレンジ
 《応募方法》
 クロスワードの答えと、機関紙の感想、組合名、郵便番号、住所、氏名、年齢を記入の上、県労連書記局宛にお送り下さい。
 抽選二名様に図書カードをプレゼントします。(ハガキ、FAX、eメール)締め切りは翌月の二十日になります。

当選者の発表！
 133号・クロスワードパズルの答えは「セカイイサン」でした。当選者が抽選で決定しました。おめでとうございませう。当選を逃した方もドンドン挑戦してください。
 当選者
 西森 エリさん (香美市職労) 左脇 美枝さん (四万十町職労) 中山 裕康さん (土長教組)

おたより紹介

四万十町職労 (M. S)

年金制度見直しで、支給開始が70歳も視野に・・・。退職しても年金を支給してもらえなければ、どうやって生活をしていいのでしょうか。のんびりと過ごせるのは、夢の夢かな？

香美市職労 (E. N)

最賃審議会の結果は変更無しとなったようですが、時給645円では1人で生活していくは無理ではないかと思えます。

県教組 (H. N)

県教組西山執行委員長のインタビューを読んで、多くの人とつながり、組織拡大につなげていかなければいけないと強く感じました。



集会の様子



新婚人からの訴えの様子

10・29

原発はいらない 市役所前に二五〇人

十月二十九日、高知市役所前で「さよなら原発高知県民のつどい」が開催され、二五〇人が参加しました。十九団体が実行委員会に加わり、共通する「原発の廃炉をめざす」という点で共同しています。政府やマスメディアの「大宣伝」に惑わされず、幅広い運動ですべての原発の廃炉をめざしています。集会終了後、市役所前から電車通りまでデモ行進を行いました。

時事川柳

消費税二・五条をつつみ込む (幸泉)
 原発の第二神話を創り出す (幸泉)
 デモ行進1%を追い詰める (牧師)
 立ち上がる震災乗り越え労働者 (牧師)
 月光や除染できぬか放射線 (源朝光)
 顔代わる国の信用地に落ちる (源朝光)
 予期しつつ南海地震備えあれ (秋桜)

「アらしと医療を守る全県キャラバン」が十月十七日より開催されました。既に市町村の要請は終了しており、その結果を持ち寄り、十一月七日の高知県の要請を行います。今年度は国保の国庫負担を国が従来の四五%に戻せという決議を多くの市町村で可決しています。この結果を重く受け、県交渉でも強く要望していきます。



室戸への要請の様子

発言の紹介

清水労連 前田



土佐清水 労連は発足して十七年目になり、毎年大会を開き運動を続けてきた。昨年

は地域へ出る運動として何でも相談会に取り組み、清水労連の存在を地域に知らせることができた。地域に相談の窓口がある大切さを改めて認識した。今年も続けて行うためにも、相談活動への補助を県労連にお願いしたい。

高知一般 浜田



被災地の医療機関の大震災時の役割について

についても県労連としても政策が必要なのではないか。アメリカで広がる格差是正のデモの広がりを県労連でどう捉えているのか。組織拡大について、労働組合を作ろうという

宣伝が弱まっているのではない。イメージ作りの戦略も必要。学習会なども、外向けにやることも考えてみてはどうか。

県国公 小松



三年連続の削減。国家公務員給与の一割削減について

廃案に向けて運動を続けており、人事院勧告を無視した決定に反対していく。三・一一の震災でも、復旧、復興には、国が担う仕事の必要性和専門性が明らかになった。今後確実に起きる南海地震に対しても、地方に責任を押しつけるのではなく、国の責任として訴えていく。

こうち生協労組 中岡



中四国地連の支援も受け、五年ぶりに専従を配置し、自立した

労組活動の確立、過半数組合に向けた組織拡大、書記局

機能の充実、この三つを目標に取り組んできた。拡大総掛かり作戦を行い、少数ではあるが、新たな仲間を迎えることができた。それ以上に、労働組合の活動をアピールすることができたことや執行委員の意識も変わってきたことが大きい。今後も前向きに頑張りたい。

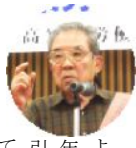
自交総連 横田



さくらハイヤー労組の争議解決に県労連の各組合に

お世話になつた。この解決事例をチラシに訴えて、低賃金、長時間労働に苦しむタクシー労働者の組織拡大に取り組み。

年金者組合 竹村



年金改定によつて、さらに年金の条件は引き下げられている。すでに

年金を受け取っている者ではなく、これからの人がターゲットにされている。二〇〇兆円

の積立が、グリーンピアなどのリゾート開発に浪費されるなど、掛け金がどこに使われたのかが不透明である。こういったことを許さない闘いを進めるためにも、年金者組合は千人の組織達成を力に、更に二千の年金者組合を作る決意である。

郵産労 筒井



民営化から四年経つが、スキルアップシートのスキル項目が四百十二項目あり、より資本主義的な手法が取られてきている。この間七名の仲間を迎えた。会社では、年賀ハガキを売らないと正社員になれないというような声もあり、立場の弱い契約社員

の自爆営業に拍車を掛けるものである。また、宅配統合の責任も今後波及していく。

農林支部 森岡



昨年、『一步出よう、見える運動を』を

していきたい。同時に青年部だけではなく、親組織としても、次世代の育成について議論を共にしていきたい。

福祉保育労 森田



労働相談センターを通じて、自立支援法の実施により、施設長以外を臨時職員に変えられたなどの様々な相談が寄せられた。県の基準が緩和されるなかで、このような相談が増え

てくると考えられる。県の基準を下げないよう、働きかけをしていかなければならない。まともな権利を主張する闘いと横で繋がる運動を進めて行く。

高知一般 平河



裁判の傍聴など、様々な支援に感謝する。

仲間の皆さんから支えられていると感じられることは、すごい力となる。また、最近は派遣労働者の問題での相談が

スローガンとして、専従者を一名雇い、自治体と協力し、健康相談会を県下各地で開催してきた。二十二年間続けてきたじん肺キヤンパが、自治体の協力体制を気付くが地盤になつている。引き続き頑張っていく。

農林支部 山本



高知県において、防災認定への窓口が狭くなつて

いる。振動障害の不認定などの事態が起こっている。しかし、振動障害やじん肺など、認定基準を満たしている人に対しては、できるだけ早く認定となるよう、運動を進めて行く。ご支援宜しくお願いする。

医労連 田辺



幹部が意識的に組織拡大について議論が必要がある。医労連では、昨年拡大できなかった組織が、組織拡大の意思統一

力。

自治労連 升井



室戸市で二十二年前のビキニ水爆の被害者の健康診断について、教組と協力して

追跡調査を行った。放射能と発病の因果関係を調査していく中で、福島第一原発の事故についても、恐ろしいものを感じている。

福祉保育労 富岡

土佐福祉社会分会を三月末に結成し、職員の正規化や賃金アップを目指し取り組みを開始している。県下の障害福祉の仲間と連携し運動を進めて行きたい。ご支援をお願いしたい。

自治労連保育部 東松



子ども子育て新システムは、介護保険システムをモデルとしており、導入されれば、保育は福祉ではなく、

子ども子育て新システムは、介護保険システムをモデルとしており、導入されれば、保育は福祉ではなく、

サービスタという保育産業になつてしまふ。これでは家の経済状況によつて保育に格差が生じてします。入る時点で施設から選別され、入つても保育時間などで選別される。これからも署名活動やキャラバンで運動を進めて行く。

年金者組合 岡村



センター合唱団で長年運動を続けている。うた

ごえなどの文化活動を通じて組織の拡大と強化を図っていきたい。

青年部 坂本



発足して間もない組織のため、まずは繋がることを

中心に活動してきた。しかし、十月一日の青年部大会を迎えるにあたり、青年部の体制や方向性、存在意義などを改めて見つめ直す機会となった。求められる機能や役割としっかり向き合い、議論

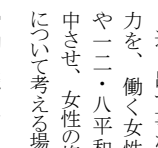
をすすめて行く。同時に青年部だけではなく、親組織としても、次世代の育成について議論を共にしていきたい。

女性部 筒井



今年広島で開催された日本母親大会は、目標を大きく超える四五〇名を高知から送り出す事が出来た。この力を、働く女性の交流集会や二・八平和の集いも集中させ、女性の権利や、平和について考える場としたい。

労働相談センター 榎原



労働相談センターは年を追う毎に多くの労働者に

知られてきている。年間の相談数も、目標を超える三二四人の相談があった。来年度から、財政体系を変更し、財政強化をしていく。個人の賛助会員も可能になったので、ぜひ働く仲間のためにご協力を宜しくお願いしたい。

県教組 畦地



学習指導要領が押しつけられ、問題のある教科書を議員が推すなど、

注意が必要。また、上から言われたことに物を言わず、事務作業をそつなくこなす教師が良い教師かのような風潮が進んでいる。そのような中で、自らの実践を持ち寄り、力量を高め、仲間の輪を広げる、県教研を開催する。組織拡大の中心と位置づけて取り組んでいく。

私学教組 砂田



私立といえど公教育の現場である。子どもがお金の心配を抜きにやりたいことができる、格差のない制度でなければならぬ。ゆきとどいた教育を求める署名に協

力を。

力。

力。

力。

力。